

まっぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第26号
文責 校長 西村羊治
令和7年7月4日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

～当たり前のことをきちんとやる人材育成をととして～

みすみ絵本サークル

先日、本年度2回目の「みすみ絵本サークル」の皆様による、読み聞かせを行いました。各クラスに一人ずつ入っていただき、朝10分ほどの読み聞かせです。子どもたちみんなが楽しみにしている取り組みです。今では全国で広がっている読み聞かせですが、私が小学生だった50年前は、そのような取り組みはま



2年生



1年生

だなかったと思います。私の記憶が正しければ、「朝読書」の取り組みは中学校に勤務していた頃（約30年前）からありましたが、それは、各生徒が自分の好きな本を自分で読むことであって、読み聞かせではありませんでした。保育園や幼稚園では、紙芝居や絵本を読んであげることはあったと思いますが・・・。

コロナ禍においては対面できず、読み聞かせもオンラインでやっていました。前任校では中学校とオンラインでつなぎ、中学生に読み聞かせをしてもらっていました。



3年生

いろいろな読み聞かせの形がありますが、小学生のほとんどが読み聞かせに興味を持っています。このことが音声言語の習得、絵本のおもしろさ、本への興味関心、想像力の向上、ひいては本好き・読書好きの児童生徒を育てていることは間違いないと思います。私はというと、小学生の時は外で秘密基



4年生

地を作ったり、ゴム銃を作ったりと外遊びばかりで、本に興味を示すことはなかったです。勉強も・・・。ですから中学や高校になってからの読解力や想像力・思考力は、読書経験豊富な同級生にはまったく及びませんでした。もちろん日記や作文など、文章を書くことも苦手でした。そんな人間が今、校長をしております。でも、今は読書や文章を考えることは、上手ではありませんが好きです。なぜでし

ようね。文字には、映画やテレビ等の映像はありません。物語を文章（文字）で読むことで、その様子や主人公の表情や背景（画像）を自分で自由に想像できます。小説を読んだ後に映画を見る場合と、映画を見た後に小説を読む場合があります。私は、読んだ後に映画を見るのがいいです。でも、多くが、ちょっとがっかりします。自分が小説を読んで想像していたものと、映画で見た映像や登場人物が乖離している場合です。ピッタリマッチしているときは、満足感一杯です。



6年生

6月22日（日）の熊日の朝刊に宮本輝さんが掲載されていました。私の好きな小説家の一人です。小説の

「良さは」、と考えると読みながらどんどん引き込まれ、次はこうなるのかな、ああなるのかなと想像が広がることも一つです。また、自分が好きな時に好きな所で読めることです。読書が嫌いだった子どもが、読書に興味を持てる大人になりました。三角小



5年生

にも私の小学時代と同じように読書が苦手な子がいるかもしれません。みすみ絵本サークルのボランティアの方々のお陰で、読書好きな子が増えています。「心の栄養」である読書好きの子が、どんどん増えるよう願っております。みすみ絵本サークルの皆様、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

☆お知らせです。紙代・インク代の予算の関係で、次回から学校だよりの紙での配付及び回覧は致しません。今後の学校だよりは、（今までのも）三角小学校のホームページでご覧ください。ホームページを見ることができない方には申し訳ありません。三角支所等への掲示は続けます。問い合わせは、学校まで。0964-52-2070